巨世夕	41535	生活環境保全事務費			会計	1 一般会計	4/1	政策		3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	本	
F Ж 11	番枝	工冶煤烧床主季衍复		予	款	4 衛生費	合	分野		6 環境・衛生	宇体計画主業	公害防止対策事業、水質汚濁対策事業	
日本語		環境政策部 生活環境課	内線	算	項	1 保健衛生費	計画	基本施	策	1 快適に暮らせる環境を整備する		<u>X</u>	
土田林		環境政東部 生冶環境床	2172		目	5 生活環境費		施策		1 生活環境の保全	H25実施計画額	1,450 千円 料	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を(対象	全市民	どうしたいのか	・公害の発生防止と、公害が発生した場合は被害を最小限でくい止める	概		・水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する
Á	対象者数	92,861 人	(音図)	「公告の先生例正と、公告が先生した場合は似音と較小成といい正の句	要	手法(手段)	・騒音、振動、悪臭苦情に係る立入検査の実施と、騒音の定期観測調査の実施

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績

・水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する ・騒音、振動、悪臭苦情に係る立入検査の実施と騒音の定期観測調査	
---	--

		指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
汪	. 1	10-13r.·U	+12	目標値	18	19	19	19
動	水質調査	地点数	箇所				19	19
推	i			実績値	18	19		
標		拠等		達成率(%)	100	100		
活動	カロゲラ	ウォッチングの開催数	0	目標値	1	1	1	1
指		フォッチング 50 m i E 奴	ш	実績値	1	1		
標		拠等		達成率(%)	100	100		
成		ウォッチングの参加者数		目標値	60	60	60	60
成果指	וויטקס	フォッナングの参加有数	^	実績値	88	29		
	算出根	拠等		達成率(%)	146	48		
7 成果	FX.77. +F	動、悪臭苦情の解決件数		目標値	35	39	-	-
果指		劉、志旲古情の解次件数	回	実績値	35	38		
標		拠等 解決件数/相談対応件数		達成率(%)	100	97		
		·		目標値				
				実績値				
	算出根	拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根	拠等		達成率(%)				
補足		意保全啓発を目的として実施しているカワゲラウォッチング 青への対応は行っているが、解決できない苦情が発生して		の減少が認め	られる。			

3 分析·評価(Check)

カが、計画で	・公害に対する市民意識は高まりがあるが、公害苦情の増加傾向と長期継続公害苦情もあり、公害防止のための啓発活動について検討する必要がある。 ・水質汚濁防止啓発活動のカワゲラウォッチングは、学校でも授業として取り組まれ子供たちの参加が減少している。
--------	---

4 今後の方向性(Action)

				・平成24年度から県条例から移譲された振動、騒音、悪臭の規制する地域の指定と規制基準、及び公害防止の効果的な啓発ついて具体的に検討する。・水質汚濁防止啓発活動の内容について、幅広い年齢層を対象とした啓発活動ができないか検討する。
	担	0	維持·改善	
次	当課			・公害防止の効果的な啓発活動を検討し実施することと、発生した公害をより迅速に、また、被害最小限となるよう関係機関との連携を強 化する。
年度	評			・水質汚濁防止啓発活動と公害防止啓発を充実させ効果が上がるよう実施する。
の	価		廃止検討	
実施	1	0	維持·改善	
方	次		拡大	(担当課評価に同じ)
針	評価		縮小	\\
	亘		廃止検討	

コスト面

			事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
ı	コスト 指標		歳出(千円)	(A)	1,652	1,453	2,170	2,521
ı			受益者1件当たり(円)	(A/B)	18	16	23	27
		受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業・水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。
・脳音、振動、悪臭の相談に係る立入検査の実施と、騒音の定期観測調査を実施する。
・ 図る必要がある。

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	2,170	2,521	351	2,170	2,870		
Ħ	国庫支出金			0	0	0		・すべての小中学校、保育園、幼稚園の土壌中放射性物質調査に要する経費を
N	県支出金	177	284	107	107 320 320	・積算内容を精査	計上	
P	その他			0	0	0		
西	一般財源	1,993	2,237	244	1,850	2,550		

由	世 夕	42200	- シャル 佐本 会義			会計	1 一般会計	4/1	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	
7	未包	番枝	プタリング プラリング アライ		予	款	4 衛生費	分野 6 環境・衛生 実施計画事業 ごみ収集事業	プンに作事業	長			
+0	₩ ##		理控办统动 大江理控制	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本施策	2 資源循環型社会の実現を図る		<u> </u>	
111	二林		垛况以来印 工力垛况床	2960		目	2 塵芥処理費		施策	2 収集処理業務の効率化	H25実施計画額	276,000 千円 桁	

1 事業の目的・概要(Plan)

	誰	を(対象)	全市民	どうしたい のか	・日常生活に伴って生じる一般廃棄物を適正に収集運搬し、快適な市民生活環境を保全する	概		・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を民間委託により実施する
Ē	対対	象者数	92,861 人	(意図)	日市工/日に行うてエレジが成成来物と超上に牧来建成し、反避なり以上/日本先と体エテジ	要	手法(手段)	・不適正処理(不法投棄、違反ごみ等)対策を実施する

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・民間委託による市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器・ごみステーション違反ごみの回収・不法投棄対策(パトロール、通報による出動等)の実施	包装・粗犬	たごみ等の収集	運搬			
	指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25

		'不法	技業対象(ハトロール、通報による田勤寺)の美施						
			指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	ステーションごみ	山田住口新	В	目標値	259	257	256	257
	動指	ステーションこの	外以朱口奴		実績値	259	257		
	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	100	100		
	活	不法投棄監視/	\$ 	В	目標値	20	20	50	20
	動指	个 本 技 来 重 悦 /	トロールロ奴		実績値	20	62		
	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	100	310		
	成	家庭系一般廃棄	车物 加集号	t	目標値	18,420	18,409	18,302	18,268
	果指	外庭木 収用者	· 彻 牧 未 里	'	実績値	18,237	18,510		
成	標	算出根拠等	計量統計		達成率(%)	99	101		
果面	成果	違反ごみ回収量	ł	t	目標値	3	3	3	3
Ш	指	産人にい四九里			実績値	2	3		
	標	算出根拠等	計量統計		達成率(%)	67	100		
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等			達成率(%)				
	補足								

3 分析·評価(Check)

	・さらなる不適正処理対策(委託業者収集時のパトロールの実施、警察など関係機関との連携による不適正処理の未然防止等) ・委託業務の見直し(収集地区ごとの収集量及び収集コストの検証等)
--	---

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・支所担当者及び委託業者職員を対象とした研修会・意見交換会の開催							
	担	0	維持·改善								
次	当課		拡大	・ごみの分け方・出し方について、啓発方法の検討などを行い、引き続き減量化及び資源化への取り組みを行う							
年度	評			パパパ 出のパモン・で、自ルバムの大郎でこと曰・、 コモ物に 水里 は次び 兵跡 に、 の水り 恒がと目 ブ							
の	価		廃止検討								
実施	_	0	維持·改善								
方	次			・収集地区ごとの収集量及びコストの検証等を行い、委託事業の見直しを検討する必要がある。							
針	評価		縮小	水木心にことが水木里及びヨハトが水血サモコが、女心を木が兀匪しを快討する必女がのる。							
	Щ		廃止検討								

コスト面

			事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
ı	コスト 指標		歳出(千円)	(A)	266,891	267,386	276,300	278,644
ı			受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,845	2,866	2,975	3,001
		受益者	全市民	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事 **
・民間委託による市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬業務・・さらなる不適正処理対策(委託業者収集時のパトロールの実施、警察など関係機関との連携による不適に処理対策(委託業者収集時のパトロールの実施、警察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、一つでは、管察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、一つでは、管察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、一つでは、管察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、一つでは、管察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、一つでは、管察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、一つでは、管察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、一つでは、管察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、管察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、管察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、管察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、管察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、管察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、管察など関係機関との連携による不適に処理対策のでは、管察など関係機関との連携による不適に処理が、できに業務の見直に(収集地区)との収集量及び収集コストの検証等)・会に業務の見直に(収集地区)との収集量及び収集コストの検証等)・会に業務の見直に(収集地区)との収集量及び収集コストの検証等)・会に業務の見直に(収集地区)との収集量及び収集コストの検証等)・表に業務の見直に(収集地区)との収集量及び収集コストの検証等)・

	事業費(人件費除<)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	276,300	278,644	2,344	276,300	276,300		
Ę	国庫支出金			0	0	0		
3	順 県支出金			0	0	0	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
P	その他	5,440	6,138	698	5,440	5,440		
	一般財源	270,860	272,506	1,646	270,860	270,860		

主要な	42205	ごみ焼却処理事業費			会計	1 一般会計	4//	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画
尹未1	番枝			予	款	4 衛生費	合	分野	6 環境·衛生	宇族計画事業	こみ焼却処理事業
田本語	9	環境政策部 生活環境課	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本施策	2 資源循環型社会の実現を図る		The state of the s
担当部	K	垛圾以来印 工冶垛块床	2960		目	2 塵芥処理費		施策	2 収集処理業務の効率化	H25実施計画額	180,000 千円 ***

1 事業の目的・概要(Plan)

	誰	推を(対象)	全市民	どうしたい のか	・適正な焼却処理の実施により「すみよさ」のある生活環境を確保する	概	事業の実施	・ごみの焼却処理及び焼却施設の維持管理を直営により実施する
Ē	勺	対象者数	92,861 人	(音図)	歴上で死却だ在り大胆にあり、7°76で]Vのの110歳がと呼ばり。	要	手法(手段)	・焼却炉の適正な運転管理を行うため、設備の保守点検業務等を民間委託により実施する

3 分析·評価(Check)

担 O 維持·改善

拡大

縮小 廃止検討 O 維持·改善

拡大

縮小 廃止検討

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・直営によるごみの焼却処理及び維持管理の実施(資源・設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査を民間委託				分析・評価で 明らかになった課題	・コスト縮減に向けての取り組み(施設の統廃合等)			
	指標名	単位	目標·実績 H22		H23	H24	H25		
活一元,体	却日数(資源リサイクルセンター)	В	目標値	342	335	341	340	4 今後の方向性(Ac	*:>
動しの焼	即口数(負/原リリインルセンター)		実績値	342	334			4 7版の方向注(AC	ulon)
標算出	出根拠等 ごみ処理基本計画		達成率(%)	100	100				
活一元	舌 プム性和日数(なな駆力リーン・センター)		目標値	118	118	100	75	課題等に対する H24対応状況	・飛騨市との委託解消によるコスト縮減・荒城クリーンセンターの解体に向けての設計委託業務の発注

	活	ごみ焼却日数(資源リサイクルセンター)	日	目標値	342	335	341	340
	動指	この方が、中国の大阪では、アット・ファント	ı	実績値	342	334		
	標	算出根拠等でみ処理基本計画		達成率(%)	100	100		
	活動	ごみ焼却日数(久々野クリーンセンター)	日	目標値	118	118	100	75
	指			実績値	118	116		
	標	算出根拠等 ごみ処理基本計画		達成率(%)	100	98		
	成	ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター排ガス)	ng/m³	目標値	1	1	1	1
	果指	アースコンンス版版及(見廊ナッコノルピンテーがパハ)	lig/ III	実績値	0.049	0.036		
成	標	算出根拠等ダイオキシン測定結果		達成率(%)	5	4		
果面	日子	ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター排ガス)	ng/m³	目標値	5	5	5	5
田	果指	アーの(アンスの成成(スペーミ)アリン・アール・アール	118/111	実績値	0.315	0.087		
	標	算出根拠等 ダイオキシン測定結果		達成率(%)	6	2		
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				·
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
	補足	ダイオキシン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値で	あり、基準	単値以下を達成	しなければならない	`		

次年度の実施方針 二次評!

二次評価

コスト面							
		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	129,015	120,219	78,375	205,555
711 133		受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,375	1,288	844	2,214
	受益者	全市民	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

・焼却施設の適正な維持管理を引き続き行うことにより、環境負荷の軽減に取り組む

・引き続き適正な維持管理を行いつつ、コスト縮減を進める必要がある。

5 予算編成(Action2)

のポイン ・直営によるごみの焼却施設及び維持管理の実施(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)・設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査の調査 ・荒城クリーンセンター及び南吉城クリーンセンターの解体に要する経費を計上 施・コスト縮減に向けての取り組み(施設の統廃合等)

	事業費 (人件費除く) H24当初予算額		H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	78,375	205,555	127,180	193,229	193,229				
Ę	国庫支出金			0	0	0	- - ・積算内容を精査			
ž	県支出金			0	0	0	・ 荒城クリーンセンター等の解体に要する経費を計上	・財務部査定のとおり		
F	その他	78,375	136,547	58,172	112,334	112,334				
Ē	一般財源	0	69,008	69,008	80,895	80,895				

主業タ	42210	ごみ埋立処理事業費			会計	1 一般会計	411	政策		3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	
尹未石	番枝	この埋立処理手来賞		予	款	4 衛生費	総合	分野		6 環境·衛生	宇佐計画事業	ごみ埋立処理事業	
-C 77 98		環境政策部 生活環境課	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本施	策	2 資源循環型社会の実現を図る		<u> </u>	
出三林		環境政東部 生冶環境床	2960		目	2 塵芥処理費	Ш	施策		2 収集処理業務の効率化	H25実施計画額	48,000 千円 科	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	推を(対象)	全市民	どうしたい のか	・適正な埋立処理の実施により「すみよさ」のある生活環境を確保する	概		・廃棄物の埋立処理事業を民間委託により実施する
Á	^h ×	対象者数	92,861 人	(音図)	歴上で任立た任が大胆(-65) 7 V/6 C J V のの エカスから IIE (人 7 で	要	手法(手段)	・汚水処理施設の維持管理を直営により実施する

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荘川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業の実施・設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査を民間委託により実施	
-------	---	--

				指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	舌	埋立作業	口粉		В	目標値	310	311	308	309
1	EVJ	建立17米	H 300		"	実績値	310	311		
	票	算出根:	処等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	100	100		
F			ン類	濃度(資源リサイクルセンター第1次埋立地処理	/0	目標値	10	10	10	10
1	果旨	水)			pg/l	実績値	0.003	0.006		
	票	算出根	処等	ダイオキシン測定結果		達成率(%)	0	0		
F	戓	ダイオキシ	ノン類	濃度(資源リサイクルセンター第2次埋立地処理	/0	目標値	10	10	10	10
†	果岩	水)			pg/l	実績値	0.003	0.025		
	票	算出根拠等 ダイオキシン測定結果			•	達成率(%)	0	0		
成 ¹ 月 月 月 月 月 月 月 月 月	戓	ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター埋立地処理水)				目標値	10	10	10	10
面	~	311+:	ノン規	展技(人々野グリーンセンター達立地処理小)	pg/l	実績値	0.012	0.001		
	票	算出根:	処等	ダイオキシン測定結果	•	達成率(%)	0	0		
						目標値				
						実績値				
	ĺ	算出根:	処等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
	ı	算出根	処等		•	達成率(%)				
4		H /44:	. 45	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		ははいてナキボ	1 + 1 1 4 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1			_
	E	ダイオモン	ノン類	濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値	「でめり、基準	■個以下を選成	しなければならない	ı		

3 分析·評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・埋立地の延命化対策(埋立廃棄物の細粒化及び細分化等)
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

			対するな状況	・埋立業者に対する埋立方法の指導強化					
	担	0	維持·改善						
次	当課		拡大	・埋立施設の適正な維持管理を引き続き行うことにより、環境負荷の軽減に取り組む					
次年度	評		縮小	主生心設の過止な権持官技で与さ続されてこにより、環境負担の軽減に取り租伍					
の	価		廃止検討						
実施	_	0	維持·改善						
方	次		拡大	・引き続き適正な維持管理を行いつつ、コスト縮減を進める必要がある。					
針	計 価 縮小		縮小	りに就さ廻正は粧付官理で1」い、ノス、コスト階級で進める必要がある。					
	Щ		廃止検討						

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円) (A)	32,754	36,349	46,570	66,342
711 131		受益者1件当たり(円) (A/B)	349	390	502	714
	受益者	全市民 (B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事・埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荘川埋立処分地、上宝埋立 業 処分地)の埋立作業及び維持管理作業の実施 内・設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査の実施 容・埋立処分地残容量の測量		事業実 実 ・埋立処分地の延命化対策(埋立廃棄物の細粒化及び細分化等) の 課題
--	--	--

	事業費(人件費除<)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	46,570	66,342	19,772	44,800	44,800				
財	国庫支出金			0	0	0	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする			
源	県支出金			0	0	0		・財務部査定のとおり		
内	その他	40,622	21,992	△ 18,630	44,254	44,254				
記	一般財源	5,948	44,350	38,402	546	546				

主要を	42215	ごみ減量化推進事業費			会計	1 一般会計	4//	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	
尹未1	番枝	この減量10推進争果賞	か黒重化推進手来質		6 環境·衛生	実施計画事業	ごみ減量化意識高揚事業、生ごみ堆肥化設備設置事業補助					
扣业额	担当課 環境政策部 生活環境課		内線	算	項	2 清掃費	計画	基本施策	2 資源循環型社会の実現を図る		<u> </u>	
担当床		煤烧以来印 工冶煤烧床	2172		目	2 塵芥処理費		施策	1 ごみの減量化や資源化	H25実施計画額	4,400 千円 ***	

1 事業の目的・概要(Plan)

	誰	を(対象)	全市民	どうしたいのか		概	事業の実施	・ごみ処理券回収報奨金の交付 ・生ごみ堆肥化装置設置補助の交付
Ē	対	象者数	92,861 人	(意図)	こりたたなが明(ノー)が明が、「ユニットを応じると思い自及にたにより、ことのの 一般単しと 図る	要		・こみの出し方と分別、及び資源化の啓発

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・ごみ処理券回収報要金の交付 ・生ごみ堆肥化装置設置補助の交付 ・ごみの出し方と分別、及び資源化の啓発			

				指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25	
	活	-° 2₁ (∩ bn :	四#同	収実施団体数	団体	目標値	70	70	70	70	
	動指	C 070736	生分凹	收 关	MW	実績値	70	67			
	標	算出根据	処等			達成率(%)	100	96			
	成	-° 21 (∩ bn :	プみの処理券回収枚数		枚	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	
	果指	C 070730	生分凹	4X 1X 9X	12	実績値	398,351	397,524			
	標	算出根据	処等			達成率(%)	133	121			
	成	/+ -° 2₁ +#±1	コル壮	置設置補助件数	件	目標値	74	74	74	74	
	果指	土この地	IL IL 🕸	巨政巨領別什奴	IT.	実績値	51	27			
成	標	算出根据	処等			達成率(%)	69	36			
果	成	家庭系—	家庭系一般廃棄物収集量目標値に対する増減		l t	目標値	18,420	18,409	18,302	18,268	
面	果指	外庭 术			,	実績値	18,237	18,510			
	標	算出根据	処等			達成率(%)	99	101			
						目標値					
						実績値					
		算出根据	処等			達成率(%)					
						目標値				·	
						実績値					
		算出根据	処等			達成率(%)					
	補足		み処理券回収事業によって、ごみ処理券をできるだけ使用しない取り組みをが定着してきた みの出し方分別について、近年リサイクル法で資源化方法の改正もあり、間違ったごみの出し方が多い								

3 分析・評価(Check)

	・家庭からのごみの収集量がやや増加しているため、増加の原因を調査分析する必要がある。 ・生ごみ堆肥化装置設置補助件数が減少しているため、生ごみ減量化の有効な取組みを検討する必要がある。
--	---

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・ごみの出し方、分別資源化の変更点など更新し、市民へ周知啓発する必要がある。 ・生ごみ減量化に向けた、生ごみ装置設置補助等の取組み方法の検討
	担	0	維持·改善	
次	当課		拡大	・減量化に繋がるよう、生ごみ装置設置補助金のありかたを検討し取り組む
年度	評		縮小	・ごみの出し方、資源化分別の周知啓発を行う
の	価		廃止検討	
実施	-	0	維持·改善	
^施	次		拡大	・家庭系一般廃棄物量が増加傾向にあるのに対し資源ごみ資源化量が減少傾向にあることから、ごみの少量化における現状を分析し今
針	評価		縮小	後の対応に繋げていく必要がある。
	豆		廃止検討	

コスト面

			事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	コスト 指標		歳出 (千円)	(A)	13,085	11,979	13,800	13,632
	211 113		受益者1件当たり(円)	(A/B)	139	128	149	147
		受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事 ・ごみ処理券回り・生ごみ堆肥化装容・ごみの出し方と		要求のが、生ごみ堆肥化装置設置促進イント	事業 実 実 施・家庭系可燃ごみの増加傾向と、資源ごみの減少傾向の現状を分析しながら対応する必要がある。 の 課題
-----------------------------	--	----------------------	--

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方	
	歳出(千円)	13,800	13,632	△ 168	13,800	13,800			
B	国庫支出金			0	0	0		・財務部査定のとおり	
JI.	県支出金			0	0	0	・要求どおり		
P	その他	13,800	13,632	△ 168	13,800	13,800			
	一般財源			0	0	0			

車	世 夕	42220	ごみ資源化推進事業費			会計	1 一般会計	6//	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	±
7	未包	番枝	この貝線化推進手来真		予	款	4 衛生費	^総 合	分野	6	環境・衛生	実施計画事業	ごみ減量化意識高揚事業、ごみ西省資化事業、ごみ処理施設維持修繕事業	長
ŧ	水調		環境政策部 生活環境課	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本施策	〔 2	資源循環型社会の実現を図る		1	公约
111	二林		垛况以来即 工力垛况床	2960		目	2 塵芥処理費	Ш	施策	1	ごみの減量化や資源化	H25実施計画額	170,400 千円 **	짜기

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を(文	象) 全市民	どうしたい のか	・一般廃棄物の資源化によるごみの減量と、資源の循環を啓発する	概		・容器包装及びその他資源化できるごみの集団回収への奨励
B	対象者	92,861	人 (意図)	■ 放廃来初の見ぶにによるこのの規重と、見ぶの間域と省先する	要	手法(手段)	・資源ごみの収集運搬選別及び容器リサイクル施設での選別

2 事業の推移・結果(Do)

_ , ., ,	
H23実績	・ごみ選別委託、拠点集積所管理の委託 ・資源回収事業での奨励金 88団体

			指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	拠点集積所での		В	目標値	51	51	52	52
	動指	た 未	7G-X-1		実績値	51	51		
	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	100	100		
İ	成	集団姿涯同 加7	集団資源回収での回収量			2,656	2,650	2,644	2,639
	果指	未凹貝原凹収(の回収重	t	実績値	2,651	2,490		
	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画	-	達成率(%)	100	94		
İ	成	切占生徒 正での	処点集積所での回収量			2,484	2,478	2,472	2,468
	果指	拠点未慎別で0.	7回秋里	t	実績値	2,415	2,274		
成	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	97	92		
果面	成	資源ごみ資源化		t	目標値	3,698	3,719	3,741	3,730
血	果指	貝/赤CV/貝/赤に	はぶこの貝原化里			3,364	3,277		
	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	91	88		
	成	資源ごみ資源化	· ×	%	目標値	27.5	27.7	27.9	27.9
İ	果指	貝/赤CV/貝/赤巾	, +	/0	実績値	26.7	25.4		
	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	97	92		
	成				目標値				·
	果指				実績値				
	標	算出根拠等			達成率(%)		·		
	補						•		
	足								

3 分析・評価(Check)

	分析・評価で 明らかになった課題	・市民、集団資源回収団体への啓発を図ることで、資源化への意識高揚を図ると共に、資源ごみの総量を減少させていく必要がある。
--	---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

	課題等に対する H24対応状況			・施設見学、出前講座等により、市民に対してごみの分別とリサイクルへの啓発を図っている。
	担	0	維持·改善	
次	当課		拡大	・引き続き、市民、集団資源回収団体への啓発を実施するなど、更に資源化意識の高揚及び資源化を図る。
年度	評		縮小	*51己続き、印氏、朱凶貝源凹収凶淬への各光を天施りるなと、史に貝源11息歳の向揚及び貝源11を凶る。
の	価		廃止検討	
実施	_	0	維持·改善	
方	次		拡大	(担当課評価に同じ)
針	評価		縮小	(江ニコ森町間に向し)
	Щ		廃止検討	

コスト面

			事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	コスト 指標		歳出(千円)	(A)	94,953	100,411	111,050	126,587
	711 155		受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,012	1,076	1,196	1,363
		受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

	事業費(人件費除<)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	111,050	126,587	15,537	119,900	119,900				
B	国庫支出金			0	0	0	・積算内容を精査			
)J	順 県支出金			0	0		・PCB処分に要する経費を計上	・財務部査定のとおり		
P	その他	15,300	14,236	△ 1,064	15,300	15,300				
Ē	一般財源	95,750	112,351	16,601	104,600	104,600				

- +	些 夕	42225	プス 株切佐乳 保立 富貴 義			会計	1 一般会計	60	政策	 3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	±
* :	***	42225 量数		予	款	4 衛生費	会 分野 6 環境・衛生 実施計画事業 ごろ	施計画事業 ごみ焼却処理事業					
te:	TK 豊田		理接听华和大汗理接触		算	項	2 清掃費	計画	基本施	2 資源循環型社会の実現を図る		 	公
7 <u>11</u> :	本		煤烧以来印 工冶煤烧床	2960		目	2 塵芥処理費		施策	2・3 収集処理業務の効率化・焼却施設の整備	H25実施計画額	180,000 千円 **	おり

1 事業の目的・概要(Plan)

	生を(対象) 全市民	どうしたい	・焼却施設の保守点検及び設備の更新等を定期的に行い、維持管理を適正に行う	概		長期修繕計画に基づき、資源リサイクルセンター及び久々野クリーンセンターごみ焼却施設の定期点検整備委託及び設備更新工事等を
	対象者数 92,861 人	(意図)	「放料ルのスクストリスでは、地方に対している。	要	手法(手段)	実施する

2 事業の推移・結果(Do)

	1	H23実績	 ・資源リサイクルセンターごみ焼却施設の定期点検整備3・久々野クリーンセンターごみ焼却施設の定期点検整備3・資源リサイクルセンター制御系股備更新工事の実施・資源リサイクルセンターごみ量増加対応工事の実施 						
I			指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
ı		活ージュは生	『日数(資源リサイクルセンター)	В	目標値	342	335	341	340
ı		動しか焼丸	ロロ奴(貝/ボックイッ)ルピンター)	"	実績値	342	334		
П		堙 管山胡	加筆 プル加理其大計画 計景統計		達成家(%)	100	100		

		指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	去却口数 <i>(</i>)	冬酒 ロサイクル・センター)	В	目標値	342	335	341	340
,	πΔι U 3X ()	長が がりずれりかピンタ──)		実績値	342	334		
	出根拠等	ごみ処理基本計画、計量統計		達成率(%)	100	100		
	去却日数(/	な な 野クリーン・センター)	В	目標値	118	118	100	75
	# AP LI 9X ()			実績値	118	116		
算出	出根拠等	ごみ処理基本計画、計量統計		達成率(%)	100	98		
	トキシン類?	豊度(咨詢リサイクルセンター排ガス)	ng/m³	目標値	1	1	1	1
	コンススパ	版及(見場グライブルピング 19F7Jへ)	lig/ III	実績値	0.049	0.036		
	出根拠等	ダイオキシン測定結果		達成率(%)	5	4		
	トキシン類:	豊度(久々野クリーンセンター排ガス)	ng/m³	目標値	5	5	5	5
	1 1 2 2 25611			実績値	0.315	0.087		
算出	出根拠等	ダイオキシン測定結果		達成率(%)	6	2		
				目標値				
				実績値				
算出	出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
算出	出根拠等			達成率(%)				
	算に	京の 京の 第出根拠等 第出根拠等 第出根拠等 第出根拠等 第出根拠等 第出根拠等 第出根拠等 第出根拠等 第出根拠等 第出根拠等		日 (ごみ焼却日数(資源リサイクルセンター) 日 (算出根拠等 ごみ処理基本計画、計量統計 ごみ焼却日数(久々野クリーンセンター) 日 (算出根拠等 ごみ処理基本計画、計量統計 ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター排ガス) ロアパ (算出根拠等 ダイオキシン測定結果 ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター排ガス) ロアパ (算出根拠等 ダイオキシン測定結果 算出根拠等 ダイオキシン測定結果 算出根拠等	日	日 実績値 342 実績値 342 実績値 342 第出根拠等 ごみ処理基本計画、計量統計 達成率(%) 100 日標値 118 実績値 118 実績値 118 実績値 100 1	日 実験値 342 334 334 334 334 334 342 334 342 348	日 実績値 342 334 344

3 分析·評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・設備更新による効果の検証と修繕計画の見直しによる施設の最適な維持管理
---------------------	-------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

			対するな状況	・ごみ量の増加に伴う計量統計の整理及び更新設備の運転状況の確認
	担	0	維持·改善	
次	当課		拡大	・焼却施設の定期点検整備を引き続き行うことにより、適正な維持管理に取り組む
年度	評		縮小	*が、単元ののため、京文は、一般に対している。 という という という かんしょう かんしょう しょう かんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう
の	価		廃止検討	
実施	_	0	維持·改善	
方	次		拡大	(担当課評価に同じ)
針	評価		縮小	\1.三 ⇒ 本子 四 ○ ○ ○
	画		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	239,589	278,485	115,000	150,672
		受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,554	2,984	1,238	1,623
	受益者	全市民	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

実施・設備更新による効果の検証と修繕計画の見直しによる施設の最適な維持管理 業・資源リサイクルセンターごみ焼却施設の保守点検 内・久々野クリーンセンターごみ焼却施設の保守点検 ・長期修繕計画に基づく焼却施設の維持管理

	事業費(人件費除ぐ)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	115,000	150,672	35,672	115,000	115,000		
Ę	国庫支出金			0	0	0		
3	県支出金			0	0	0	・実施計画を基に積算内容を精査	・財務部査定のとおり
P	その他			0	0	0		
	一般財源	115,000	150,672	35,672	115,000	115,000		

主要を	42235	海福朋友古政義			会計	1 一般会計	4//	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	
尹未1	清掃関係事務費		予	款	4 衛生費	合	分野	6 環境·衛生	実施計画事業	プル収集事業		
担当	当課 環境政策部 生活環境課	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本施策	-		- T		
担当部		環境政東部 生活環境課	2172		目	2 塵芥処理費		施策		H25実施計画額	27,600 千円 ***	

1 事業の目的・概要(Plan)

	誰	を(対象)	全市民	どうしたい のか	・ごみ処理施設の安全な管理運営を行う	概	事業の実施	・資源リサイクルセンターの夜間警備委託を行う・料金徴収用システムの保守点検を行う
Ē	対対	才象者数	92,861 人	(音図)	この 大型 大型 の 大工 から 仕座 古 と ロ ブ	要	手法(手段)	行业はなれたノステムのは、当時では、

2 事業の推移・結果(Do)

- チネの症じ	, MAX (50)
H23実績	- 資源リサイクルセンターの夜間警備委託を実施 - 料金徴収用ンステムの保守点検業務の実施

				指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	1				目標値	12	12	12	12
	動	資源リサイ	イクルも	センター夜間警備委託の実施	月	実績値	12	12		
	指標	算出根据	処等			達成率(%)	100	100		
	活					目標値	2	2	2	2
	動指	料金徴収	用シス	テムの保守点検実施回数	回	実績値	2	2		
	標	算出根据	処等			達成率(%)	100	100		
						目標値				
						実績値				
成		算出根据	処等		•	達成率(%)				
成果面						目標値				
Ш						実績値				
		算出根据	処等			達成率(%)				
					目標値					
						実績値				
		算出根据	処等			達成率(%)				
						目標値				
						実績値				
		算出根据	処等			達成率(%)				
	補足	・料金徴収	双用パ:	ノコンモニターが故障し更新を行った(パソコン199	8年製)					

3 分析・評価(Check)

	・ごみ処理施設へのごみ搬入量に対する料金徴収とデータ管理システムが正常に稼働するため、保守点検を実施し管理運営を行う必要がある。
--	--

4 今後の方向性(Action)

	課題等に対する H24対応状況			・料金徴収用システムが故障しないよう、システム及び機器の年間保守点検整備を行う。
	担	0	維持·改善	
次年	当課		拡大	・ごみ処理施設の夜間警備を行い安全な管理と、料金徴収用システムを正常運用するため適正な維持管理を実施する。
年度	評		縮小	- このため、大田宮川の大田宮川の大田では、大田田田田の大田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田
の	価		廃止検討	
実	_	0	維持·改善	
施方	次		拡大	(担当課評価に同じ)
針	評価		縮小	\1.三 ⇒ 本子 四 ○ ○ ○
	Щ		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	5,894	7,501	8,123	8,597
		受益者1件当たり(円)	(A/B)	63	80	87	93
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 ・資源リサイクルセンターの安全な管理を行うため夜間警備委託を実施する ・対金徴収用システムの保守点検を実施する ・おか処理施設の安全と、適正な管理運営を維持する。 の課題

	事業費(人件費除<)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	8,123	8,597	474	11,693	11,693				
B	国庫支出金			0	0	0		・財務部査定のとおり		
)J	順支出金		5	5	10	10	・積算内容を精査			
P	その他			0	0	0				
Ē	一般財源	8,123	8,592	469	11,683	11,683				

主業々	42250	粗大ごみ再利用化事業費			会計	1 一般会計	6//	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	
尹未仁	番枝	祖人にの丹利用化学呆賞		予	款	4 衛生費	^総 合	分野	6 環境·衛生	宇族計画事業	ごみ再資源化事業	
中本報	· 网络小女女 人工网络别	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本施策	2 資源循環型社会の実現を図る		<u> </u>		
担当的		環境政策部 生活環境課	2960		目	2 塵芥処理費		施策	1 ごみの減量化や資源化	H25実施計画額	157,000 千円 和	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか	・排出された粗大ごみを再利用化し、リフォームフェアーによるごみの減量化と資源化を高める	概	事業の実施 手法(手段)	・粗大ごみのリフォーム
Á	対象者数	92,861 人		「抗山でもい、私人とのでも特別用もし、ソフィームフェナーによるとのの概要もと見感もと同じる	要	手法(手段)	・リフォームフェアーの開催

2 事業の推移・結果(Do)

|--|

			指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	l			目標値	15	15	20	20
	動指	リフォーム	フェアー開催回数	回	実績値	15	15		
	標	算出根持	処等		達成率(%)	100	100		
	成		リフォームフェアー応募者数		目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
	果指	リフォーム	フェアー心券有奴	人	実績値	2,988	1,956		
	標	算出根据	処等		達成率(%)	100	65		
	战	リフォーム	フェアー販売個数	個	目標値	670	600	600	600
	果指	777 1	ジェクールスプロ回気	IEI	実績値	667	562		
成	標	算出根据	処等		達成率(%)	100	94		
成果面					目標値				
囲					実績値				
		算出根据	処等		達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根持	処等		達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根技	処等		達成率(%)				
	補足								

3 分析·評価(Check)

		・今後、自転車をリフォーム製品として出すことができるようにするために、PL法(製造物責任法)等による調整が必要である。 ・支所におけるリフォームフェアーの開催が少ない。
--	--	---

4 今後の方向性(Action)

			:対する 5状況	・今年度、全支所地域でリフォーム製品フェアーを開催するようにしている。
	担	0	維持·改善	
次年	当課		拡大	・リフォームフェアーの充実(各支所での開催回数の増加等)を図るなどして、全市域に物を大切にする意識を広げ、ごみの減量化を図って
年度	評		縮小	ı√.
の	価		廃止検討	
実施	_	0	維持·改善	
方	次		拡大	(担当課評価に同じ)
針	評価		縮小	시프 의자町 岡(니門)()
	Ē		廃止検討	

コスト面

	_						
		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
コスト指標		歳出(千円)	(A)	3,582	3,660	3,910	3,898
311 133		受益者1件当たり(円) (A	1∕B)	38	39	42	42
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

	事業費(人件費除<)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	3,910	3,898	Δ 12	3,910	3,910				
B	国庫支出金			0	0	0		・財務部査定のとおり		
N.	県支出金			0	0	0	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする			
P	その他	700	300	△ 400	700	700				
品	一般財源	3,210	3,598	388	3,210	3,210				

車業 夕	42255	発泡スチロール再資源化事業費			会計	1 一般会計	4//	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	
尹未仁	事業名 ^{番枝}			予	款	4 衛生費	合	分野	6 環境·衛生	宝施計画事業	ごみ再資源化事業	
扣坐帽	+0 11 =0	環境政策部 生活環境課	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本施策	2 資源循環型社会の実現を図る		<u> </u>	
프크리		煤烧以来印 工冶煤烧床	2960		目	2 塵芥処理費		施策	1 ごみの減量化や資源化	H25実施計画額	157,000 千円 157	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を(対	(象)	全市民	どうしたい のか	・日常生活に伴って生じる資源ごみを再資源化することにより、ごみの減量化と資源循環型社会の実現 を図る	概	事業の実施	・発泡スチロールの資源ごみを収集運搬し、減容機で中間処理し再資源化する
Á	対象を	首数	92,861 人	(意図)	を図る	要	手法(手段)	・元心ヘノロールの見感にので水未進成し、感合版で中間定型し代見感じかの

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績 ・発泡スチロールの収集運搬、滅容委託

			指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活	発泡スチロール	の同位日数	日	目標値	361	362	360	361
	動指	光池入り口 ル		"	実績値	361	362		
	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	100	100		
	成	80:43.TB II	き 治スチロール収集搬入量		目標値	14	14	15	15
	果指	光池ステロール	収集版人里	t	実績値	15	14		
	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画	•	達成率(%)	107	100		
	成	%:hare #	次准儿员		目標値	14	14	15	15
	果指	』 発泡スチロール資源化量 計		t	実績値	15	14		
БÜ	標	算出根拠等	ごみ処理基本計画		達成率(%)	107	100		
成果面					目標値				
面					実績値				
		算出根拠等		•	達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等		•	達成率(%)				
					目標値			_	
					実績値				
		算出根拠等		•	達成率(%)				
	補								_
	足								

3 分析·評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・市民に対して、引き続き資源ごみの分別に対する啓発が必要である。
---------------------	----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

	課題等に対する H24対応状況			・発泡スチロールの資源化啓発を継続し、資源化によるごみの減量化を図っている。
	担	0	維持·改善	
次	当課		拡大	・引き続き、発泡スチロールの資源化啓発を継続し、資源化によるごみの減量化を図る。
次年度	評		縮小	**DIO税C、光心へプロールの具体に含光を整轄し、具体についるこのの。
の	価		廃止検討	
実施	=	0	維持·改善	
方	次		拡大	(担当課評価に同じ)
針	評価		縮小	()三コ杯町 脚にいりし)
	Ш		廃止検討	

コスト面

			事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	コスト 指標		歳出(千円)	(A)	2,692	2,659	3,080	3,095
			受益者1件当たり(円)	(A/B)	29	28	33	33
		受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

	事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	3,080	3,095	15	3,080	3,080				
郥	国庫支出金			0	0	0				
源	県支出金			0	0	0	・要求どおり	・財務部査定のとおり		
内	その他			0	0	0				
副	一般財源	3,080	3,095	15	3,080	3,080				

車 樂	42260	容器包装廃棄物再資源化事業			会計	1 一般会計	4/1	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	
争業:	番枝	· 谷部已妆虎来物丹贝娜化学未真		予	款	4 衛生費	^総 合	分野	6 環境·衛生		ごみ再資源化事業	
担业	+D 77 =B	環境政策部 生活環境課	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本施策	2 資源循環型社会の実現を図る		<u> </u>	
면크	本	垛况以来即 工冶垛堤床	2960		目	2 塵芥処理費	Ш	施策	1 ごみの減量化や資源化	H25実施計画額	157,000 千円 和	

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を(対象	全市民	どうしたい のか	・日常生活から分別排出される容器包装を適正に資源化し、資源の循環型を啓発する	概		・分別収集された容器包装を選別圧縮し、再資源化施設へ搬出し資源化する
Ė	対象者数	92,861 人		日市工力がジカカが田でから管轄已次と起工に更添けら、更添り順味主と日元する	要	手法(手段)	カガル末でから者留己衣と左方に幅し、行見師(b)に改、 N版田し見廊(b) で

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・プラスチック製容器包装、紙製容器包装の再資源化委託		
-------	----------------------------	--	--

			指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
	活		1日7末 口	丰位	目標値	310	311	308	309
	動	プラスチック乳	と	日	実績値	310	311	300	309
	指標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	100	100		
	活	异田依拠等	7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 /	1	目標値	310	311	308	200
	洒動	紙製容器包装	長収集及び回収日数	日		310	311	308	309
	指	App. 1 1 TED THOU AN	A Dule # El TE		実績値				
	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	100	100		
	成果	プラスチック乳	投容器包装収集量	l t	目標値	650	650	740	740
	未 指				実績値	700	694		
成	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	108	107		
成果面	成果	紙製容器包装	ビ 切集号	t	目標値	620	620	680	680
田	未指	WAX II III II I	(4)木里	,	実績値	643	624		
	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	104	100		
	成	プニフエック領	^投 容器包装資源化量	t	目標値	650	650	660	660
	果指	J JA J J/Ja	《谷价已农只 <i>师</i> 七里	'	実績値	647	622		
	標	算出根拠等	分別収集計画		達成率(%)	100	96		
	成	细制索明与制	·次连儿是		目標値	620	620	630	630
	果指	紙製容器包装	受兵源16重	t	実績値	617	598		
	標	算出根拠等	分別収集計画	•	達成率(%)	99	96		
	補		•		•				
	足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・市民に対して、引き続き、資源ごみの分別に対する啓発が必要である。
明らかになった課題	The state of the same of the state of the st

4 今後の方向性(Action)

	課題等に対する H24対応状況			・収集運搬された容器包装の適正な再商品化を継続し、ごみの減量化を図る。
	担	0	維持·改善	
次年	当課		拡大	・引き続き、収集運搬された容器包装の適正な再商品化を継続し、ごみの減量化を図る。
年度	評		縮小	* 引き続き、収未運搬された谷益己表の廻正な丹間面化を整続し、このの減重化を図る。
の	価		廃止検討	
実施	—	0	維持·改善	
方	次		拡大	(担当課評価に同じ)
針	評価		縮小	\\
	Щ		廃止検討	

コスト面

			事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	コスト 指標		歳出(千円)	(A)	45,571	43,985	52,400	53,019
	711 177		受益者1件当たり(円) (A	√B)	486	471	564	571
		受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

	事業費(人件費除<)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方	
	歳出(千円)	52,400	53,019	619	52,400	52,400			
財	国庫支出金			0	0	0			
源	県支出金			0	0	0	・積算内容を精査し、前年並み事業とする	・財務部査定のとおり	
内	その他			0	0	0			
訳	一般財源	52,400	53,019	619	52,400	52,400			

・不燃ごみの組成分析

車業を	42280	ごみ処理施設建設事業費			会計	1 一般会計	政策 3 「すみよさ」のあるまちを	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	ごみ処理基本計画	
尹木1	番枝	この処理施設建設学呆賞		予	款	4 衛生費	^総 合	分野	分野 6 環境・衛生		快却処理施設整備事業
+ㅁ 44 원		環境政策部 生活環境課	内線	算	項	2 清掃費	計画	基本施策	2 資源循環型社会の実現を図る		\(\frac{1}{12} \)
担当部		垛圾以来印 工冶垛块床	2960		目	2 塵芥処理費 施策 3 新焼却施設の整備 H25実施計画額		310,000 千円 🙌			

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰	を(対象)	全市民	どうしたい のか	・新ごみ処理施設建設に向けた場所の選定と施設整備を行う	概	事業の実施	・新ごみ処理施設の検討
Ĥ	対	象者数	92,861 人	(音図)	・利にが224元の文法以に刊けた物が0分数をこれの主義で11プ	要	手法(手段)	・新ごみ処理施設用地選定等の手法の検討

2 事業の推移・結果(Do)

	H23	実績 · 処	MCLのの相成力が 理方式等の再検討 設地決定までの手法の調査検討						
			指標名	単位	目標·実績	H22	H23	H24	H25
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等	<u> </u>		達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等	<u> </u>		達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
成		算出根拠等	<u> </u>		達成率(%)				
果面					目標値				
Щ					実績値				
		算出根拠等	F		達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等	F		達成率(%)				
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等	F		達成率(%)				
	補足								

3 分析·評価(Check)

八七三年十二	
分析・評価で 明らかになった課題	・施設整備において、PFI方式導入の可否について調査する必要がある。

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・建設候補地の選定、施設規模、市民参画の手法等の検討している。			
	担		維持·改善				
次	当課	0	拡大	・新ごみ処理施設建設に向けて、引き続き調査、検討を継続する。			
次年度	評		縮小	*利この型性施設性取に同じて、可含物で調査、快割を整務する。			
の	価		廃止検討				
実施	_	0	維持·改善				
方	次		拡大	(担当課評価に同じ)			
針	評価		縮小	(担当株計画に向し)			
	Щ		廃止検討				

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	2,174	3,045	5,000	11,810
		受益者1件当たり(円)	(A/B)	23	33	54	127
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内・新ごみ処理施設建設に係る基礎調査等業務	要求ののポー・新ごみ処理施設建設に係る基礎調査委託の増イント	事業 実施 の課題 課題
-------------------------	--------------------------------	-----------------------

	事業費(人件費除<)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方	
	歳出(千円)	5,000	11,810	6,810	10,510	10,510			
財	国庫支出金			0	0	0			
源	県支出金			0	0	0	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり	
内	その他			0	0	0			
訳	一般財源	5,000	11,810	6,810	10,510	10,510			